

(無断転載を禁ず)

いぶすき検定

第1回 上級試験

問題用紙

(午前 13 時 30 分開始 制限時間 90 分)

注意事項

1. 答案用紙の記入にあたっては、黒鉛筆またはシャープペンシルを使用すること。
2. 答案はすべて答案用紙に記入し、提出すること。
3. 答えの欄には、各問につき、1つだけ番号を記入すること。
4. 点数は100点をもって満点とし、問1が20点(5問で各4点)、問2が20点(5問で各4点)、問3が20点(5問で各4点)、問4が10点(5問で各2点)、問5が30点(1問で30点)とします。

平成 26 年 8 月 24 日

指宿商工会議所

指宿の自然

問 1. 指宿の自然・景観等について〔1〕～〔5〕の文中に当てはまる語句を記入しなさい。

〔1〕指宿市は年間平均気温約 19℃、雨の日は年間 50 日程度という気象状況下であり、温暖で亜熱帯的気候のため、市内にはソテツが自生し、南方系のツマベニチョウ が乱舞する の地でもある。

〔2〕およそ 10 万年前に噴火した阿多カルデラは、九州帝国大学教授の火山・地質学者 松本唯一氏によって 1940 年代(約 70 年前)に提唱されて、研究の端緒が開かれたものである。市域の大半がこのカルデラの中に含まれることから、指宿市は火山銀座あるいは、 とよばれている。

〔3〕鬼門平は阿多カルデラの外輪山の一部であり、池田湖の北西に高さ約 200～300m、長さ約 10 km に亘りのびている。鬼門平一帯には、百数十万年前にできたと推定されている が存在する。

〔4〕池田湖は、約 5、700 年前の火山噴火がきっかけとなって誕生したカルデラ湖である。噴火は大きく 6 回あり、最後の噴火(およそ 500 年後)にはマグマが噴出して が形成され、その活動を終息させた。

〔5〕指宿地域の植物の特徴は、北方系植物と南方系植物とが共に見られることである。南方系植物のグンバイヒルガオは田良から潟口にかけて生育し、タムラソウ等の北方系植物は鬼門平に生育している。また、竹山付近では、北方系植物と亜熱帯植物とが生育する状況も見られる。
一方、 には、環境省のレッドデータブックの「絶滅危惧種Ⅱ類」に分類される希少種ナンゴクカモメヅルが生育している。

指宿の歴史

問 2. 指宿の歴史について〔1〕～〔5〕の文中に当てはまる語句を記入しなさい。

- 〔1〕「いぶすき」の名前が歴史上はじめて登場するのは平安時代である。記載されているのは、延長5年(927年)に成立した『』という法典である。その後作られた『和妙抄』、『薩摩国正税帳』、『律令残片編』にも記述があることから、奈良時代(710～794年)には指宿郡という地域があったと考えられる。
- 〔2〕指宿市内には、これまで知られているだけでも約120個所の遺跡がある。最も古いもので約3万年前、新しいもので江戸時代である。そのうち、46ほどの遺跡で発掘調査がおこなわれている。市指定文化財に指定されているのは、国内最南端の古墳の「弥次ヶ湯古墳」と、約1万5千年前の石器とともに竪穴式の建物跡などの発見があった「」である。
- 〔3〕『日本三代実録』という歴史書には、貞観16年3月4日(874年新暦3月25日)の開聞岳噴火の記録が載っている。編者は菅原道真らで、26年後の延喜元年(901年)に完成した。この時の噴火によって、指宿の大半が火山灰で埋め尽くされたとされる。「」の発掘調査では、火山灰の重みで倒壊した建物や火山灰に埋もれた畠が見つかっている。大正時代の発掘調査の際、濱田耕作博士はこの遺跡のことを「東洋のポンペイ」と呼んだ。
- 〔4〕後醍醐天皇の建武政府(1333年)が誕生すると、内裏大番役が再開され、指宿郡司としてがその勤番に当たっている。
- 〔5〕江戸時代の宝永2年(1705年)、南方航路の船員であったは、琉球から種イモを持ち帰った。彼は栽培法を一軒一軒教え、その普及に努めたとされる。唐芋は救荒作物として、天明・天保の大飢饉において多くの人々の命を救った。明治30年に建立された徳光神社は、彼の功績をたたえて「玉蔓大御食持命(たまかずらのおおみけもちのみこと)」として祀ったものである。

指宿の文化

問 3. 指宿の文化に関する問題に答えなさい。

〔1〕湯のまちとして知られる指宿。江戸時代の「旅行用心集」には、九州の温泉 36 ヶ所が紹介されているが、その中に揖宿郡内の 4 つの温泉が別府や嬉野と並んで「名湯」として紹介されている。4 つの温泉の名前を答えなさい。

〔2〕次の文章が示す郷土芸能の名前を答えなさい。

中川地区に伝わる太鼓踊りである。この郷土芸能は、踊り手が色鮮やかな陣羽織風の衣装をまとい太鼓や鉦を打ち鳴らしながら勇ましく舞うことで知られている。

〔3〕次の文章が示す神社の名前を答えなさい。

明治の初めまで「諏訪大明神」といわれた神社である。この神社に伝わる神舞は、江戸時代にはすでにあり、380 年以上の伝統を持っているといわれる。また、第 2 代薩摩藩主 島津光久の前でも披露されたともされる。現在は 10 月 28 日に近い土曜日から、「グレ」といわれる町まわりの御神幸が行われ、翌日曜日の夕方から 14 の神舞が奉納されている。

〔4〕次の文章の俳人の名前を答えなさい。

鹿児島が生んだ無季派の俳人である。長崎鼻に、昭和 30 年 7 月、彼を偲んで句碑が建設された。句碑には、彼の代表作「海の旅」（下記）が刻まれている。

満点の 星に旅ゆく マストあり
しんしんと 肺碧きまで 海の旅
幾日はも 青うなばらの 円心に

〔5〕次の文章が示す人物の名前を答えなさい。

彼は指宿市宮ヶ浜出身の医者である。各地の保健所勤務の時に南日本の地名の語源やいわれを研究した。著作集の「南日本の地名」には、指宿の地名に関する研究が収録されている。これによると、「指宿の地名は、和妙抄では『以夫須岐（イフスキ）』と表記されているが、『ユフスキ』が原型であり、『イフスキ』はこれがなまったものと考えられる。それが後に濁音化して、『イブスキ』になったと考えられる。指宿の語源は、湯生村（ゆふすき）であると考えられる。」としている。

指宿の産業・経済

問 4. 次の〔1〕から〔5〕の文書の空欄に下記のキーワードから適切な語句を選んでその番号を記入しなさい。

〔1〕江戸時代の文献である「三国名勝図会」などによれば、指宿は日本の「たばこ発祥の地」とされる。明治初めごろには、潟口地区に大きな製造工場があり、指宿産が県内生産の約半分を占めていた。明治維新後、濱田金右衛門は、指宿タバコを京阪や長崎に出荷して巨利を得た。指宿タバコは、火つきと舌ざわりのよさが“うり”で、「」と呼ばれ好評を博し、大正4年から終戦まで皇室の御料用に指定されたこともあるが、時代とともに消費者の嗜好等が変化し、その生産は昭和48年に終了した。

〔2〕黒牛、黒豚に続く第3のブランドとして期待される「黒さつま鶏」は、薩摩鶏とを掛け合わせる方法で、県によって開発された。その間約6年の歳月を要したが、現在、指宿市でも生産されている。

〔3〕池田湖で本格的に養魚が始まったのは昭和24年のことである。はじめは、鯉、鰻などが養殖されていたが、市制施行の昭和29年には、稚鮎の増殖が主体となり、琵琶湖に次ぐ生産地として知られていた。

一方、池田湖における漁業と観光開発が進むにつれ池田湖の水質が悪化し、富栄養化が進んだ。昭和56、57年に発生した赤潮の原因が、養殖の餌による有機物の堆積物と考えられたことから、管轄する鹿児島県の規制等もあって養殖業の廃業等が進んだ。

〔4〕山川での鰹節製造は明治43年に始まった。現在、全国のかつお節の約75%は鹿児島県で作られており、山川は約36%で、枕崎に次ぐ全国2位の産地である。しかし、に限れば全国の7割を製造しており、日本一を誇る。

〔5〕山川―鹿児島を結ぶ鹿児島湾内航路が明治33年から昭和30年代前半まであり、木造船や汽船が運行されていた。

山川―根占航路の開設は昭和43年である。現在、が航行し、旅客95人、普通乗用車のみなら18台が搬送可能となった。

また、指宿と屋久島・種子島の間は、超高速の水中翼船「トッピー」と「ロケット」で結ばれている。トッピーとは種子島の方言でトビウオのことである。

| | | | | |
|--------------|------------|----------|-----------|------------|
| ①砂むし薬 | ②指宿薬 | ③南国薬 | ④白色レグホン | ⑤横斑プリマスロック |
| ⑥ロードアイランドレッド | ⑦フェリーなんきゅう | ⑧ブーゲンビリア | ⑨マルエーフェリー | ⑩種苗 |
| ⑪原種 | ⑫漁業 | ⑬生節 | ⑭粗節 | ⑮本枯れ節 |

指宿の産業・経済（論述問題）

問5.

「いぶすき菜の花マラソン」について、下記の3つの言葉を使って200字程度で説明しなさい。

1. フルマラソン公認コース
2. 心のこもったおもてなし
3. 約2000人のボランティア